

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	フルリール		
団体の属性	<input checked="" type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等 <input type="checkbox"/> ボランティアグループ等		
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成 協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	カサンドラ症候群当事者のための総合支援事業		
事業の目的	心理面、生活面、法律面、医療面等の複合的課題を抱えているカサンドラ症候群当事者に対し、課題解決を促進するため、総合相談窓口を支援の入り口とし、フルリール(当事者)、心理士、弁護士、医師等の専門家が連携し、総合的支援を行う。		
事業概要	○メール及び電話による総合相談の実施 ・傾聴を中心とする。無償ボランティアスタッフが担当。 日時：6月～2月 13時から18時 相談者数：延べ63名 ○心理生活相談会の実施 ・心理士による個別相談 日時：6月～2月 会場：はくと友神奈川(神奈川県福祉保健活動拠点)及びオンライン形式 相談者数：20名(別紙1) ○法律に関する講座及び法律相談の実施 ・弁護士による夫婦関係に関する法律セミナー「カサンドラが幸せになる法律セミナー」 日時：10月16日(日) 12時30分から15時30分 会場：はくと友神奈川(神奈川県福祉保健活動拠点) 受講者数 28名 ・弁護士による個別相談 日時：10月15日(土)、10月16日(日) 両日とも9時から11時 会場：はくと友神奈川(神奈川県福祉保健活動拠点) 相談者数 両日とも3名(別紙2) ○医療に関する講座の実施 ・精神科医による発達障害に関するセミナー「大人の発達障害 up to date」 日時：10月30日(日) 13時から15時30分 開催形式：オンライン(Zoom) 受講者数：73名		
成果や課題	6月から2月に無償ボランティアスタッフが担当し、傾聴を中心とする無料メール及び電話相談を実施。延べ63名の方から相談を受けた。長い間周囲に理解されず、精神面や生活面で追い込まれている状況を訴える相談者が多かった。相談内容から、専門家による支援が必要と思われる相談者に対し、心理生活相談(20回)及び法律相談(6回)を実施した。 また、当会のセルフヘルプグループ活動(かたりば)の情報提供を行い、多くの方にご参加いただいた。 相談者からは、「医師から「カサンドラ症候群は妄想にすぎない」と言われ途方に暮れていたが、自分の訴えを信じてもらえる相談先に出会って救われた」「同じ悩みを抱えた仲間と出会うことができ心強く感じた」等の感想を頂いた。 その他、パートナーからのDVを受けているカサンドラも少なくないため、そのような状況にあるカサンドラを対象に離婚に向けての知識を得ていただくことを目的とした弁護士による「法律セミナー」、また、パートナーへの関わり方のヒントを得ていただく事を目的とした精神科医による発達障害に関する「医療セミナー」を実施した。 法律セミナーについては昨年度同様、定員を超える申し込みがあり、関心の高さを感じた。また、医療セミナーについては、「発達障害の正しい知識を知ることができた」「具体的でわかりやすかった」等の感想を頂いた。 カサンドラが陥りやすい、「周囲に理解されにくい故の孤立や悩みの深刻化」の解消に向けて、微力ではあるが寄与できたものと思われる。 課題としては、支援機関やセルフヘルプグループに繋がっておらず、ひとりで悩みを抱え深刻化しているカサンドラが		

まだまだ多いと感じており、広く広報を行いたいと考えているものの、予算に限りがあるため効果的な手法を検討する必要があるが、広報に関するスキルを持つスタッフがおらず、実現に至っていないことがあげられる。

今後の展望

周囲に理解者がおらずひとり悩みを抱えているカサンドラに対し、事業や当会の周知のため、広報用チラシの公的機関等への配架を計画していたものの、デザイン作成を終えたところで年度末となってしまったため、今年度は、印刷及び配架を行い、より多くのカサンドラの参加に繋げていきたい。
フルルールに参加することでカサンドラから回復した者に対し、ボランティアへの参加を呼びかけ、マンパワー不足を解消していきたい。また、支援の必要性を社会に対し発信していくことで、市民、企業からの寄附等による自主財源確保に努めたい。

活動の様子が分かる画像 2 枚程度添付

